

桑名市議会議長  
南澤 幸美 様

第4班 班長 伊藤 真人

### 議会報告会実施結果報告書

開催日時	令和 5年 6月 2日 (金) 18時30分 ~ 20時30分		
開催場所	多度まちづくり拠点施設		
出席議員	班長	伊藤 真人	
	司会	太田 誠	記録者 伊藤 知美
	近藤 浩	畑 紀子	服部 喜幸
参加人数	11 人		
議会報告の概要	議員自己紹介 市議会だよりの説明 市議会だよりに関する質疑応答 その他の質疑応答		
主な意見・要望	多度地区小中一貫校について (跡地利用、通学路も含む) 不登校児童の復学率について NTN 総合運動公園のサッカー場の補修について 桑名市の財政について		
備考			

## 議会報告会記録

【第 4 班】

( 1 / 3 )

開催日時	令和 5 年 6 月 2 日 (金) 18 時 30 分 ~ 20 時 30 分	
開催場所	多度まちづくり拠点施設	
参加人数	市民 11 人、議員 6 人	
議会報告に対する質疑応答	質 問	回 答
	・小中再編事業について。小中学生が同じ場所で学ぶことは、子どもの発達を考えた時、子どもの視野、体力に差があるので、安全面に危機感を覚えるが。	・安全面への考慮が欠けているのであれば、市へ伝えていく。
	・修徳地区のスクールゾーンの問題はどうなったか。多度の県道も車の量が多いため、修徳地区の効果があるならば、参考にできないか。	・全市で、小中再編していくにあたり、すべて一体になるというわけではない。
	・これから学校に進学する子どもの家庭にとって、具体的な絵が分からないのは心細い。小中学校でグラウンドが一緒、段差がある等、改善するところがあるように思う。決まったから進めるのではなく、これから入学する人の意見を聞き、見直しながら進めてほしい。	・効果測定の結果はまだ出ていないが、実質、車がスピードを落とすなどの様子がみられるので、全市的にもやっているとよいと思う。
	・これから学校に進学する子どもの家庭にとって、具体的な絵が分からないのは心細い。小中学校でグラウンドが一緒、段差がある等、改善するところがあるように思う。決まったから進めるのではなく、これから入学する人の意見を聞き、見直しながら進めてほしい。	・行政主導で情報がはっきり伝わっているかということ、そうではない。他の学校の視察をしてきたが、グラウンドは別々というのが多かった。地元の声をしっかり聞いて進めてほしいと、市に伝えていく。
	・市役所に出向き尋ねたが何の答えもない。中長期のことが決定していないのに思い付きでやってしまう感がある。	・校舎の跡地利用はまだ具体的には決まってないと聞いている。
	校舎の跡地活用は、地元優先でお願いしたい。	
	校舎の跡地利用は、使途・方法が決まるまでの維持管理	・他の地域のまちづくり協議会設立準備委員会では、受託管理

	質 問	回 答
議会報告に対する質疑応答	はどのようにするのか。市が管理するとしてもお金はあるのか。また、学校関連の土地の管理はどうするのか。	契約を結び、街路樹の管理を市と協同で行っている。地域で要望を出していただけるとよい。
	地域からの要望としては、非常に難しいところなので、業者・営利団体が管理する方がよいと思うが。	・全部、市におまかせではなく、地域としてどのようにしていくのかまとめることが大切になる。
	・国からの公施設を減らす施策で、廃校の校舎は解体していくと聞いている。廃校校舎を残すとなると助成金が出ないので、残った校舎の維持管理費用はどのようになるのか。	・はじめて聞いた話で、再度市当局に確認する。 →市への確認事項は別紙へ記載。
	・学校再編に関するアンケートを行ったというが、その内容がおかしいのではないかと。項目に小中一貫校についての問いがない。他市の学校の例で、子どもの発達に関して何ら良いことはないという結果が出ている。議会ですっかり意見して行ってほしい。	・ご意見をしっかりと伝えていく。
	・小中学校再編計画策定事業の予算で800万円程ある。このお金の内容がわかれば教えてほしい。議会ですっかり把握、意見をして、市民にも知らせてほしい。	・今年から3年間の事業費で、1年目は市民に周知、現状把握、案の作成。2年目は合意形成。3年目は案を絞り込み、再編計画を作成、パブリックコメント実施、公表。約800万はこれらを進めるにあたり必要な経費である。
	・小山台からの子どもたちの通学路の安全確保について。令和8年4月から小中合わせて計260人。また、高低差がある道路、車のスピードが落ちないため安全面を危惧している。横断歩道橋を作るという発想がない。議会でも力になってほしい。また、通学路、スクールゾーン	・陽だまりの丘地区の児童生徒の中には、歩道橋を使って小学校に通っているので可能な気もするが、警察の方で何らかの規制があるかもしれないので確認する。 →市への確認事項は別紙へ記載。 ・自治会からも要望をしっかりとあげてもらえるとよい。

	質 問	回 答
議会報告に対する質疑応答	を時間によって侵入禁止にすることもできたらいいのだが。	
	・NTN 総合運動公園のサッカー場の補修を何回もお願いしているが、なかなか進めてくれない。(人工芝・シャワー等)	・市に何度か伝えているが、再度伝えていく。
	・不登校の子どもが学校に戻れたパーセントが分かれば教えてほしい。	・学校に戻れた子のパーセントは把握していないが、子ども達が学校に行けない時に学習できる環境を整え、支援している。パーセントについては確認してお答えする。 →市への確認事項は別紙へ記載。
	・スクールバス、大型バスで毎日子どもたちを通わせるのは、心配が大きい。バスを1台増やして欲しい。	・業者の提案も一つの方法だが、見守り隊の方の意見等も取り入れてもらって、地域からの声をもっと大きくしていってもらったかどうかと思う。
	・桑名市の財政状況はどうか。	・経常収支比率は、令和3年で85.8パーセントになった。

## 市への確認事項

Q 多度地区小中一貫一体校建設に関し、廃校になる校舎・グラウンド等の利用計画はあるのか？

A 多度中小学校を除く4校について具体的に決まっていない。

今後、利活用の方法を地域の皆様と一緒に考えていきます。

Q 利用目的が決定するまでの維持管理はどうするのか

A 市が最低限の維持管理を行います。

Q 学校再編計画策定アンケートに検討会の答申が記載されていなかったのはどうしてか

A 現在の教育環境についての市民の皆様の率直な意見・思いを把握することを目的に行った。答申の明記は、先入観等を招く可能性があることから明記しなかった。

Q 新校舎完成後の通学で、歩道橋整備の整備は可能か

A 市は基本的に平面交差点を考えている。歩道橋の整備は考えていない。

新しい学校の通学路は、地域の方々に見守り等の協力を頂き、市道四日市多度線・天王平交差点を經由する導線を考えている。

歩道橋設置に関する規制は、特にありません。

Q 不登校児童生徒が学校に戻れたパーセンテージはどれだけか

A 令和4年度は、教育支援センターに部分登校又は学校へ登校できた割合は、小学校で7.5%、中学校で47%です。継続的に休んでいても学期初めからしばらく登校して再び欠席となることや、別室に登校しながら継続的に休む状況になることがあります。従って、再登校できたことをもって、不登校の児

童生徒が学校に戻れたとすることは難しく、一人ひとりの状況を丁寧につかみ、自立に向けて支援することを大切にしています。